

2013 年 1 月 23 日

岡 素之

1. 我が国の産業競争力の強化に向けて

- 最先端医療の推進
薬事法改正も視野に入れた国際的なイコール・フットイングの実現。
- エネルギーの安定供給の確保
原子力発電所の早期再稼働の実現。再稼働までは火力発電所の増設が急務。その為には環境アセスメントの迅速化が必要。
- 地域の活性化による成長の実現
ICT を活用した活力あるコミュニティづくり等。
- 電子政府の推進
行政の効率化と国民の利便性向上を図る。その為にはマイナンバー制度の導入は不可欠。これらの基盤を活用して新産業を創出していく。
- 経済連携の強化
貿易立国である我が国が持続的に成長していくには経済連携の強化が絶対に必要。TPP、日中韓 FTA、RCEP を同時に推進していく必要がある。
- 官民連携によるアジアにおける産業インフラの整備
電力分野での実績はあるものの、日本企業グループによる鉄道、道路、港湾分野では成果が十分に上がっていない。官民一体となった取り組みの強化が求められている。
- 第一次産業(特に農業)の強化
若い人が魅力を感じ、農業の担い手として新たに参入できるような環境整備を行う。生産性を高めるとともに農産物の輸出拡大を図る。
- 国家戦略としてクールジャパンを推進
韓国、中国の勢いに押され、東南アジアでの日本のプレゼンスは日々低下。国家戦略としてクールジャパンを推進していくことが必要。

2. 規制改革

- 成長戦略の実現に向けて、障碍となっている規制を取りのぞく。
産業競争力会議と規制改革会議との連携を密にする。
- 規制改革推進にあたっては政治のリーダーシップが不可欠。

以上